

# 第3学年 技術・家庭科指導案

日時 平成18年10月27日(金)3校時  
場所 栗石中学校 3年6組 教室  
生徒 3年6組(男子21名、女子17名、計38名)  
指導者 教諭 久慈美佳

## 1 題材名 家族と家庭生活 「幼児の発達と家庭環境」

### 2 題材について

家族と家庭生活では、幼児の観察や遊び道具の製作などの実践的、体験的な学習を通して幼児に関心を持たせ、子どもが育つ環境としての家庭や家族の人間関係について考えることにより、家庭や家族の基本的な機能や重要性を理解させることをねらいとしている。

しかし、中学生のいる家庭では幼い弟妹がいる例は少なく、日常生活の中で生徒が幼児と身近に接する機会はほとんどないため、幼児に対する関心や思いやりの気持ちを育てる機会に恵まれず、自己中心的な生活を送りがちである。

本題材では「幼児理解」を「人間理解」の学習ととらえ、幼児の心身の発達や生活習慣、保育と環境などの学習を通して自己の成長を振り返らせ、今の自分が様々な人との関わりで成長してきたことを自覚させたい。また、幼児に関心を持ち理解を深めていく中で、思いやりの心を育て、生命の尊さや人間の可能性、家族や周囲の人々との関わりについても考えさせていきたい。

### 3 生徒の実態

本校では、3年生の総合的な学習の時間を活用し、保育体験学習を実施している。そのため、家庭科の授業の中では、幼児の心身の発達の特徴、遊びの意義、遊び道具(絵本)の製作などの学習を行い、制作した絵本は、体験学習の際に持参し活用している。また、幼児と触れ合った体験を踏まえ、子どもが育つ環境、家族の役割、地域との関わりについての学習を進めている。

喫煙・飲酒・薬物乱用に関わって、昨年度、保健体育委員会が独自に行ったアンケート結果から、本校生徒の約10分の1が「薬物に興味を持っている」と答えている。また、生徒の家族の状況を調べると、90%の家族が飲酒をし、71%の家族が喫煙をしているという実態である。喫煙者や飲酒者が身近にいるという環境は、幼児にとっても望ましいとは言えず、子どもが育つ環境としての家族の役割について考えさせることは重要であると考えられる。

### 4 指導計画

- ・ 幼児の心身の発達 2時間
- ・ 幼児の生活習慣 1時間
- ・ 幼児の遊びと生活 5時間
- ・ 幼児の発達と家庭環境 1時間(本時)
- ・ 幼児の発達と地域環境 1時間

### 5 本時について

#### (1) 本時の目標

喫煙や飲酒が胎児や幼児に与える影響について説明できる。  
子どもが育つ環境としての家族の役割について具体例を言える。

#### (2) 授業の構想

はじめに、生命誕生の神秘に触れ、かけがえのない命が母親の喫煙によって危険にさらされているということを、データ等に基づいて科学的に認識させたい。また、VTRやポスター等の視聴覚教材を活用して理解を深めたい。幼児を取り巻く危険は薬物以外にもたくさんあり、様々な意見が出ると予想されるが、本時では特に薬物に重点を置いて考えさせたい。

次に、幼児の身の回りに「たばこ」「ライター」「酒」等があるということが、受動喫煙のほか、誤飲、やけど、喫煙や飲酒の習慣の刷り込み等、多くの問題を含んでいることに気づかせたい。さらには、薬物中毒による幼児虐待の危険についても触れ、子どもが育つ環境としての家族の役割について考えさせていきたい。

(3) 授業の展開

過程	学習指導の内容	生徒の活動	指導・援助の留意点
導入 10分	1、生命の始まりについて想起させる 2、「本時の目標」の確認	・ラシャ紙を光の方向にかざし、受精卵の大きさを確認する ・学習内容の把握	・ラシャ紙に針で穴を開けたものを準備 ・VTR「生命誕生の神秘」
<b>子どもを健康で安全に育てるための環境について考えよう。</b>			
展開 30分	3、妊婦が喫煙することによる胎児への影響を知らせる 4、幼児のそばで喫煙や飲酒することの問題点について考えさせる 5、保護者の薬物依存が、育児放棄や幼児虐待につながったケース等を知らせる	・妊婦の喫煙が胎児にどのような影響を及ぼすか予想し発表する ・胎児にとっての環境は母体であることを確認する ・ニコチンによる血流障害 ・一酸化炭素による酸素不足 ・喫煙による食欲不振、栄養不足 ・低体重児は非喫煙者の2.4倍 ・資料を見て、どのような危険があるか個人の考えをまとめ、班で話し合い、発表する ・どのようにすれば危険を回避できるか、班で話し合い、発表する ・喫煙や飲酒の習慣の刷り込みについて考える ・保護者のアルコール依存症、薬物中毒等による、幼児への二次的な害を知る	・保健学習等での既習事項から予想する ・妊婦の喫煙は赤ちゃんに悪い影響があるという漠然としたイメージに、科学的根拠を持たせる ・妊婦の禁煙を呼びかけるポスターの提示 ・写真等の資料を提示し、問題点を考えやすいように工夫する（受動喫煙・誤飲・やけど等） ・幼児は自分では危険を回避出来ないで、周りの家族などが環境を整えてあげなければいけないことを、話し合いの中で気付かせたい。 ・幼児は言葉や生活習慣など様々なことを「まね」しながら覚え、周囲の環境に大きく影響されることを、話し合いの中で気付かせたい。 ・幼児の事故原因のデータ ・新聞記事など、具体的な資料を提示する ・母親だけでなく、家族全員の協力が必要なことを知らせる
終末 10分	6、本時のまとめ	6、子どもを健康で安全に育てるため、家族や自分の役割についてプリントに記入し、発表する	数名に発表させる。それ以外の生徒は、プリントを回収し評価する

7 評価

喫煙や飲酒が胎児や幼児に与える影響について説明できる。  
子どもが育つ環境としての家族の役割について具体例を言える。

8 評価規準と具体の評価基準

	A ; 十分満足できる	B ; 概ね満足できる	C ; 努力を要する
喫煙や飲酒が胎児や幼児に与える影響について説明できる。 (知識・理解)	受動喫煙、誤飲、やけど等の危険についてと、危険回避の方法について説明できる。	受動喫煙、誤飲、やけど等の危険について説明できる。	話し合いの内容や資料について振り返って説明し、プリントへの記入を援助する。
子どもが育つ環境としての家族の役割について具体例を言える。 (創意・工夫)	子どもを健康で安全に育てるための家族や自分の役割について、具体例をあげて説明できる。	子どもを健康で安全に育てるための家族の役割について説明できる。	話し合いの内容や資料について振り返って説明し、プリントへの記入を援助する。